

平成 30 年年度 第 9 回栃木県支部 役員会議事録

1. 開催日時： 平成 31 年 2 月 10 日（日）10：00～12：00
2. 開催場所： とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら 研修室B
3. 出席者： 黒須重富、福田一郎、篠原正美、久芳良則、宮下治、川上寛児、西谷元則、新井達雄、谷口雅昭、井本郁子、松原猛、金澤政和（敬称略）（12名）
 - *委任状：亀田則男、稲葉 茂、黒川昌司、
 - *後藤明氏がオブザーバとして出席（次期幹事候補）

4. 審議事項

(1) H31 年度支部幹事立候補について（黒須支部長）

黒須支部長から資料に沿って、H31 年度支部役員幹事立候補の手続きについて説明があった。概要は以下のとおりである。

- ・平成 31 年度から立候補届手続きがこれまでの書面方式からウェブ登録方式に変更されたので、栃木県支部役員候補者も資料を参考に各自登録処理をお願いする。登録受付は 2 月 12 日～20 日、投票開始日は未定、開票日は 4 月 12 日、黒川委員は退任予定で新たに後藤氏が立候補の予定。（今回の役員会に出席）

(2) H31 年度本部提出予算、事業計画（黒須支部長）

各委員長から支部長に提出された計画案を基に検討した。主な修正点は以下のとおりである。

- ・広報委員会 → 項番ミスを修正する。
- ・企業支援委員会 → 活動目的、業務内容に鑑み名称の変更を検討する。
- ・H31 年度収支計画 → 「雑収入」を「業務幹旋等収入」に変更する。
- ・環境支援小委員会と科学技術・理科教育小委員会は内容を其々別個に記述する。修正後、黒須支部長から本部に提出する。

(3) 支部組織表（黒須支部長）

黒須支部長から資料に沿って説明があった。主な審議結果は以下のとおりである。

- ・表に名誉顧問を追記する。
- ・国際委員会の中にサクラサイエンスや浙江省との技術交流等のプロジェクトを小委員会として組織する。
- ・環境小委員会の中で「市貝プロジェクト」としていくつかの WS があるが組織表に記述したらどうかとの意見があったが、細くなるので、対外資料には表記しないが、年次大会資料には記述する。
- ・協賛団体には会費未納の会社もあるので確認をとってから退会扱いとする。

(4) 業務幹旋関連（篠原副支部長）

篠原副支部長から、支部幹旋規定の改定、特別会費の会計科目変更、企業支援委員会の組織一部変更の審議依頼があった。審議結果は以下のとおりである。

- ・ 幹旋規定：①規定、会則の表現が適切かどうか支部長が確認する。
 - ②第 6 条、「届」→ 「報告」に変更する。
 - ③第 12 条、「特別会費」→ 「事業幹旋費」に変更する。
- ・ 特別会費の会計科目変更 → 「業務幹旋費等収入」に変更する。
- ・ 企業支援委員会 → 技術士会の PR を主目的にした名称変更する。

(5) 桐郷市技術協定意向書（黒須支部長）

黒須支部長より、昨年末に浙江省訪問時に桐郷市から技術交流の申し入れがあり、意向書を締結したとの報告があった。しかし、支部での対応力もあり今後更なる要望に対しては慎重に進めて行く。

(6) 提供講座（宮下委員）

宮下委員より、2月21日（木）に土木学会関東支部栃木会との共催による「技術士を志す方への情報提供講座」を開催するとの説明があり、了解された。

* 審議事項の最後に黒須支部長から日本技術士会会長表彰候補者の推薦依頼がきているとの報告があったが、資格要件も含めて栃木県支部に該当者がいるか支部長が確認する。

5. 報告事項

(1) まちびあオフィス意見交換会出席報告（谷口委員）

2月28日までにまちびあから活動報告書の提出依頼がある。来年度利用するための登録申請書と併せてまちびあに提出する。また、6月に利用者全体会議が予定されているとのことで、対応について黒須支部長、西谷委員で調整する。来年度会費は値上げされる予定である。

(2) 浙江省ものづくりセミナー報告（黒須支部長）

昨年末、浙江省訪問時のものづくり班の報告が黒須支部長より行われた。((3)項関連)

(3) 浙江省訪問について（福田副支部長）

H30年12月17日～22日、中国浙江省訪問した際のセミナー開催、企業訪問、の写真が資料提供された。

(4) 31年1月開催8県支部長会議結果報告（福田副支部長）

1月に開催された8県支部長会議の出席報告が福田副支部長からある。主な点は以下のとおりである。

- ・ 技術士会 HP を改訂した。
- ・ 新合格者歓迎会は合格後早めに行った方が、入会を勧誘しやすい。栃木県支部は6月に実施しているが改善の余地がある。
- ・ 支部活動において、海外活動費を積極的に活用して欲しい。

(5) 市貝町の浮島プロジェクト企画について (井本委員)

昨年12月に実施した市貝町との打合わせについて説明がある。内容は、「浮島による地方創生、自然保全と活用」である。市貝町から技術士会栃木支部は信頼があるが、栃木県支部が期待に応えられない可能性が大きい。期待に応えるには、NPO法人の立ち上げ等の対策が必要となる。

(6) 上都賀地区ふれあい学習ネットワーク参加報告 (久芳副支部長)

2月1日に鹿沼市民情報センターで行われた研修会の参加報告が久芳副支部長から説明がある。当支部で行っている理科・教育の活動アピールを行ったところ好感触を得たとのことである。

(7) SDGs に対する栃木県支部取組 (案) について (川上委員)

川上委員からSDGsの推進に向けた私案について説明があった。

また、県との打合わせを行った。打合せ結果は、「県は、既に検討している」とのことであった。

6. その他

次回開催予定： 3月9日(土) 13:00 ~を予定する。

以上

議事録および署名人

支部長	黒須 重富
議事録署名人	宮下 治
議事録署名人	谷口 雅昭
書記	金澤 政和